

真菌関連慢性咳嗽に関する研究のお知らせ

帝京大学大学院医学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 1 月 10 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 ポリメラーゼ連鎖反応 (Polymerase chain reaction; PCR) 等を用いた *Bjerkandera adusta* (和名: ヤケイロタケ)、*Schizophyllum commune* (和名: スエヒロタケ) の遺伝子解析システムによる特異的増幅・同定法の検討

〔研究目的〕 我々は原因不明の慢性咳嗽の患者さんの一部に、*Bjerkandera adusta* (和名: ヤケイロタケ) や *Schizophyllum commune* (和名: スエヒロタケ) などの真菌が関与していることを報告し、真菌関連慢性咳嗽という新たな疾病概念を提唱しました。これらの真菌は担子菌系糸状菌と呼ばれるもので、現時点では本菌が気道由来の検体から検出されていることを診断基準の一つとしています。しかしながら、担子菌系糸状菌は一般的に発育が遅く、形態学的な特徴も乏しいため、臨床検体からの分離、同定が容易ではありません。そのため、我々は迅速、簡便かつ特異性の高い菌種同定、検出システムを構築すること、及び真菌関連慢性咳嗽の新たな診断基準を構築することを目的に、本研究を行うこととしました。

〔研究意義〕 担子菌系糸状菌の検出、同定システムを構築することにより、真菌関連慢性咳嗽の診断や疫学的研究、病態の解明等に寄与する可能性があります。

〔対象・研究方法〕 咳嗽等の呼吸器症状のある患者さんから、一般診療の範疇で採取された喀痰や咽頭スワブ等の残検体を凍結保存します。原因不明慢性咳嗽の患者さんの保存検体から真菌 DNA を抽出し、我々が構築したリアルタイム PCR 法等による菌種特異的検出システムによって、担子菌系糸状菌の関与の有無、起炎菌の同定を後方視的に行い、その結果をもとに、真菌関連慢性咳嗽の診断基準に関する検討を行います。

〔研究機関名〕 帝京大学大学院医学研究科宇宙環境医学研究室

(共同研究機関: 済生会金沢病院呼吸器内科)

〔個人情報の取り扱い〕 患者さんの ID と日付ごとに個別にサンプル ID を割り当て、管理することによって匿名化します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 帝京大学大学院医学研究科 教授 榎村 浩一

研究分担者: 帝京大学大学院医学研究科 大学院生 戸根 一哉

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 43215]